

知新2

地質調査業のめざすもの

地質リスクマネジメント

全国地質調査業協会連合会は、公共事業のコスト削減に貢献するために地質リスクに関する研究を行っています。地質条件自体とその不確実性は、工事コストだけでなく維持管理費を含めた事業コスト、さらには社会的費用、時間的費用を含めた総コストに大きな影響を及ぼします。

地質リスクをタイムリーにマネジメントしコスト削減を達成するということは、地質リスクを抽出し、対策を検討・実施することによりリスクを低減しながら事業を進めていくプロセスです。地質リスクマネジメントシステムを効果的に運用するためには以下の3つの要素が必要です。

- ①発注者の側に立つ技術顧問制度
- ②リスク計量手法の確立
- ③マネジメントシステムの確立

公共事業に地質リスクマネジメントを適用することにより、以下のような効果が期待できます。

- 地質リスク対策による工期短縮、コスト削減と納税者の信頼獲得を可能とする
- 事後対応から事前対応への変更による円滑な合意形成が可能となる
- 悲観的リスクから出発するプロセスマネジメントにより説明責任とリスクコミュニケーションに寄与する
- プロジェクトの各段階から次の段階へのリスク引渡内容が明確となる

地質リスクに関する調査・研究は、高知工科大学渡邊法美教授を委員長とする全国地質調査業協会連合会の「企業間連携の推進に関する調査・研究委員会」において行われています。(K.T記)

地質

構 想

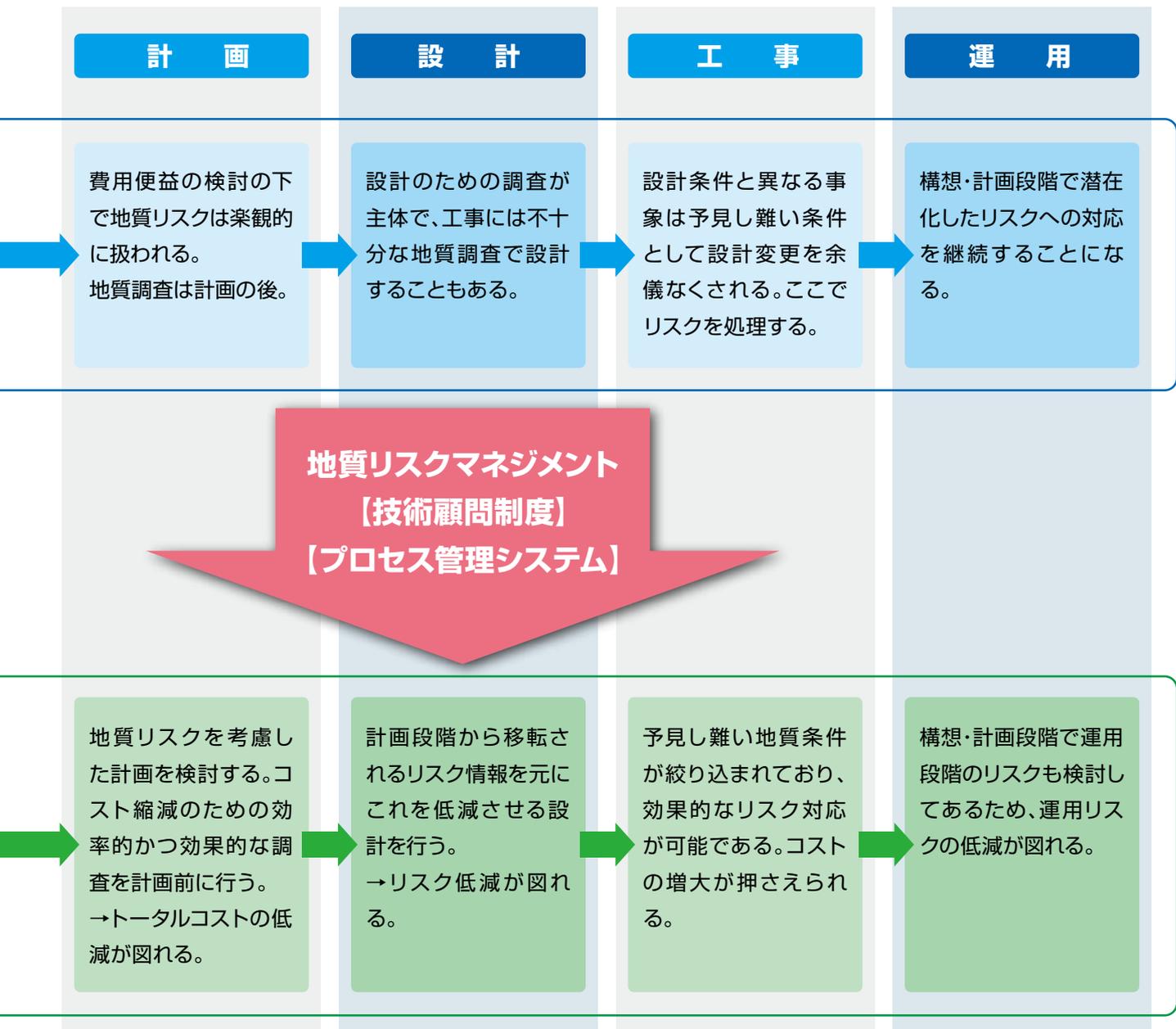
従来の手法

悲観的リスクの抽出。
対応は後段へ移転される。

提案する手法

発注者側に地質専門家(地質の技術顧問)を置き、悲観的リスク項目の抽出・計量化を試みる。各事業段階の地質リスクを把握する。

リスクマネジメント手法とその効果



(社)全国地質調査業協会連合会(2007)「地質リスクに関する調査研究」を要約